



い い の し ょ う が っ こ う

飯野小学校だより

2024(令和6)年11月6日(水) No.20

拡大学校運営協議会を開催しました

10月23日(水)に令和6年度創徳
中学校区拡大学校運営協議会を開催しまし
た。

今年度で3回目となりました。創徳
中学校・牧田、清和、飯野の各小学校の
学校運営協議会の委員の方々が参加し、す
ずかこどもクリニックの渡辺正博院長を講師
に招き、『スマホって本当に良いもの?』と題
して講演をしていただきました。

講演の主な内容は、以下のようになります。



- ネットの利用時間は、ここ10年で増加傾向である。
- 「ゲーム依存」が病気として認められる時代になった。
- 市内の中学生のアンケートからもゲーム依存の傾向にある子がみられる。
- 全国学力・学習状況調査の結果から、スマホの使用30分未満の子どもはよい結果が
でている。自分自身で使う時間のコントロールすることが大切である。
- 学習時間が長くてもスマホの使用時間が長いと成績が伸びない傾向がある。
- 調べ学習のときに、スマホを使うと速くできるが記憶に残りにくい。紙でできた辞書等を
使うと集中力もつき、記憶にも残りやすい。(脳波の動きが違う)
- 北欧では、デジタル教科書から、紙の教科書での学習に戻そうという動きがある。
- 最近の傾向として、小学校入学前の視力低下が増加している。幼児期からスマホやタ
ブレットを使用していることが要因ではないか。
- 急性内斜視になる子どもも増加している。原因は上記と同じと考えられる。
- SNS による被害が増えている。ニュースになっているのは、氷山の一角かもしれない。
近年は、小中学生の被害者が増えてきている。
- 子どものスクリーンタイムが長い理由は、保護者のネット利用時間の長さや家庭内のル
ールがないことである。